

2026年度 外国人留学生のための 東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程) 試験内容および課題曲等

(本冊子はこのページを含めて全25ページ)

※試験科目の内容について、電話等による問い合わせには応じない。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載する。

【 略 記 - 覧 】

専攻・声種・楽器名		略記	専攻・声種・楽器名		略記
作 声 楽 ・ オ ペ ラ	曲	/	器 古 楽	バ ロ ッ ク 声 楽	BVo
	ソ プ ラ ノ	S		バ ロ ッ ク ヴ ァ イ オ リ ン	BVn
	メ ゾ ・ ソ プ ラ ノ	Ms		バ ロ ッ ク チ ェ ロ	BVc
	ア ル ト	A		リ コ ー ダ ー	Rec
	カ ウ ン タ ー テ ノ ー ル	Ct		チ ェ ン バ ロ	Cemb
	テ ノ ー ル	T		バ ロ ッ ク オ ル ガ ン	BOrg
	バ リ ト ン	Br		フ ォ ル テ ピ ア ノ	FP
器 楽	バ ス	B	指 揮		/
	ピ ア ノ	Pf	邦 楽		/
	オ ル ガ ン	Org	音 楽 文 化 学	音 楽 学	/
	弦 楽	ヴ ァ イ オ リ ン		音 楽 教 育	/
		ヴ ィ オ ラ		ソ ル フ ェ ー ジ ュ	/
		チ ェ ロ		音 楽 文 芸	/
		コ ン ト ラ バ ス		音 楽 音 響 創 造	/
		ハ ー プ		●略記について● 1. 原則として2字以内にまとめた。 2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。 3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。	
	木 管	フ ル ー ト			
		オ ー ボ エ			
		ク ラ リ ネ ッ ト			
		フ ァ ゴ ッ ト			
		サ ク ソ フ ォ ーン			
	金 管	ホ ル ン			
		ト ラ ン ペ ッ ト			
		ト ロ ン ボ ーン			
		ユ ー フ ォ ニ ア ム			
	打 室	チ ュ ー バ			
		打 楽 器			
	室 内 楽	/			

2026年度「学生募集要項」の公表について

1. 公表時期 7月上旬

2. 公表方法

本学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 上で公表する。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
作曲	作曲	(イ) 作品審査 以下に定める作品等を 2025 年 8 月 22 日（金）正午までに直接又は郵送により音楽学部学生募集係に提出すること。 [提出を要する作曲作品について] 二管編成以上の管弦楽作品およびアンサンブル作品（演奏者 2 名以上 10 名以内で、声楽を含む場合も可）から、それぞれ 1 曲ずつの楽譜を提出する。 (ロ) 筆記試験 日本語による、作曲の基礎的な知識に関する筆記試験。（試験時間 90 分） （注）筆記試験では辞書の使用を認めるが、使用できるのは言語系の紙媒体の辞書 1 冊に限る。音楽事典など、言語系以外の辞書は使用不可とする。 (ハ) 口述試問 提出した上記作品および作曲に関する口述試問を日本語で行う。

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
声楽	声	ソプラノ (S)	提出曲 志願者は、以下の A, B, C の各分野より 2 曲ずつ、計 6 曲を選び、受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入し、提出すること。 A 分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B 分野：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C 分野：歌曲。 ※オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが、移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙の「イロハニホヘ」の記号で行うので、そのコピーを当日持参すること。 試験内容 ①歌唱実技試験 提出された曲目の A, B, C の各分野より 1 曲ずつ、本学が試験当日に記号で指定するので、指定された 3 曲を 9 分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲、適宜カットして良い）。演奏曲順は自由。ただし、音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」において声楽を選択する者は、本学が試験当日に記号で指定する 1 曲を暗譜で演奏すること。 ※演奏はピアノ伴奏とし、志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ②初見視唱 ③ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ④小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑤面接
	楽	メゾソプラノ (Ms) アルト (A) カウンターテノール (Ct) テノール (T) バリトン (Br) バス (B)	

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
オペラ		ソプラノ (S)	提出曲 志願者は、以下の A, B, C の各分野より 2 曲ずつ、計 6 曲を選び、受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入し、提出すること。 A 分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B 分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C 分野：歌曲。 ※オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが、移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙の「イロハニホヘ」の記号で行うので、そのコピーを当日持参すること。 試験内容 ①歌唱実技試験 提出された曲目の A, B, C の各分野より 1 曲ずつ、本学が試験当日に記号で指定するので、指定された 3 曲を 9 分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲、適宜カットして良い）。演奏曲順は自由。 ②オペラ適性検査 任意のオペラからレチタティーヴォ付きアリアを 1 曲選び（曲目提出の必要はない）、原語・原調で、また暗譜のうえ演技付きで演奏する。演奏時間は制限しないが、当日試験官が演奏箇所を指定する場合がある。助演は認めない。なお、テーブル・椅子の用意はあるが、小道具については各自用意のうえ使用を可とする。 ※以上の①，②の演奏はピアノ伴奏とし、志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ③初見視唱 ④ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ⑤小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑥面接
	オ	メゾソプラノ (Ms)	
		アルト (A)	
	ペ	カウンターテノール (Ct)	
		テノール (T)	
ラ	ラ	バリトン (Br)	③初見視唱 ④ピアノ演奏 自由曲 1 曲：ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェン等の作曲家によるピアノ曲（ソナタ・ソナティネ程度）から、任意の楽章を演奏する。暗譜でなくとも良い。演奏を中断する場合があるが、評価上不利になるものではない。 ⑤小論文 当日出題するテーマについて、日本語で記述する。 ⑥面接
		バス (B)	

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	ピ ア ノ (P f)	◎注意事項 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 以下 (A) (B) (C) の曲目で合計 25 分以上のプログラムを提出し演奏する。 (A) J. S. Bach, Haydn, Mozart, Beethoven の作品より 1 曲 (B) (イ) Chopin の練習曲より 1 曲 (ロ) Chopin 以外の作曲家の練習曲より 1 曲 (C) 自由曲 I) 演奏はすべて暗譜とすること。 II) 当日、時間の都合により一部省略させることがある。 (ロ) 面接 ピアノを専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
器 オ ル ガ ン (O r g) 楽		◎注意事項 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 以下（Ａ）及び（Ｂ）の演奏をする。 （Ａ）専攻実技課題曲 （１）J. S. Bach：Trio Sonate BWV525 から 530 の中から任意の一曲（全楽章） （２）J. S. Bach：大規模な「前奏曲とフーガ」，「幻想曲とフーガ」，「トッカータとフーガ」の中から任意の一曲 （３）以下から任意の一曲： ①F. Liszt：Präludium und Fuge über den Namen B-A-C-H, ②M. Reger：Phantasie und Fuge über den Namen B-A-C-H ③Ch. M. Widor：任意の Symphonie から急楽章を含む任意の複数楽章（演奏時間が20分を超えないこと） ④L. Vierne：任意の Symphonie から急楽章を含む任意の複数楽章（演奏時間が 20 分を超えないこと） *時間の都合で一部省略させる場合がある。 *試験に使用するオルガンの仕様については以下を参照のこと。 （Ｂ）通奏低音実技 数字付き低音課題を初見で演奏する。なお、当日 10 分間の試奏時間を与える。ただし、書き込みはできない。 ※実技試験の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を 2 回与える。 （ロ）面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。 （次ページへ続く）

[illegible]

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	弦 楽	◎弦楽研究分野共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。 ○「受験曲目提出用紙」及び「志望理由書」を出願時提出すること。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲(全曲) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L. v. Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J. Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F. Mendelssohn : Concerto E minor Op.64 (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲(全曲) J.S.Bach : Solo Suites No.1 G major BWV1007 No.2 D minor BWV1008 No.3 C major BWV1009 No.4 E flat major BWV1010 2. 次の中から任意の1曲 (1) B. Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シュルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W. Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6 より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J. Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A. Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R. Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E. Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D. Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude 2. 次の中から任意の1曲(全楽章) (1) K. D. Dittersdorf : Concerto E major (2) J. B. Vanhal : Concerto D major (3) G. Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G. Bottesini : Concerto No.2 B minor (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 次の中から任意の1曲 (1) C. P. E. Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G. F. Händel : Concerto (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。伴奏なし。) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章) (ロ) 面接 弦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 管 打 楽	木 管	◎管打楽研究分野共通注意事項 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、受験者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。（ただしテナートロンボーンは提出不要）
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 下記の a) または b) より任意の 1 曲を選択し演奏すること。 (カデンツァを含む) a) W. A. Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W. A. Mozart : Konzert D-Dur K.314 2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を 1 曲演奏すること。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 以下2曲を演奏すること。 ・ Mozart : Concerto in C major for Oboe and Orchestra KV 314 (Bärenreiter 版) 全楽章暗譜 ・ G.P. Telemann : Twelve Fantasias for transverse flute without bass より No.1, No.7, No.9 全曲暗譜 2. オーケストラ・スタディ a) Rossini : Die Seidene Leiter b) Brahms : Violinkonzert D-Dur (『V. Miller, W. Liebermann (編) : Orchesterprobenspiel: Oboe / Englischhorn / Oboe d'amore (Peters)』を使用すること) ※演奏箇所は当日指定する。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 (演奏順は任意とする。) 1. 課題曲 以下の両方を演奏すること。ただし Mozart は暗譜とする。 W. A. Mozart : Konzert A-Dur K. 622 H. Hepp, A. Rohde (編) : Orchesterprobenspiel : Klarinette / Hohe Klarinette / Bassklarinette (Peters) より L. v. Beethoven : Sinfonie Nr. 6 第 1, 2 楽章 2. 自由曲 (任意による 1 曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 W. A. Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし) 2. 自由曲 (任意による 1 曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
		(イ) 実技試験 1. 課題曲 J. Ibert : Concertino da Camera 2. 自由曲 (任意による 1 曲) 3. 初見視奏 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等			試験内容および課題曲等
器 楽	管 楽	金 管	ホルン (H r)	(イ) 実技試験 - 次の中から任意の1曲を選択し、演奏すること。 W. A. Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より 第1楽章 W. A. Mozart : Konzert Nr.3 Es-Dur K.447 より 第1楽章 (カデンツァを含む) W. A. Mozart : Konzert Nr.4 Es-Dur K.495 より 第1楽章 (カデンツァなし) - 自由曲 任意の無伴奏現代曲1曲 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			トランペット (T p)	(イ) 実技試験 - 課題曲 H.Tomasi : Concerto 全楽章 - 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 J. W. Hertel : Concerto No. 1 in E ♭ Major 第1, 2楽章 G. Ph. Telemann : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) L. Mozart : Concerto in D 全楽章 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			トロンボーン (T b)	テナートロンボーン (T T b) (イ) 実技試験 - 課題曲 F. Martin : Ballade (Universal Edition) G. Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。 - 自由曲は課さない。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
				バストロンボーン (B T b) (イ) 実技試験 - 課題曲 T. Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			ユーフォニアム (E u p h)	(イ) 実技試験 - 課題曲 J. Horovitz : Euphonium Concerto (Novello) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
			チューバ (T u)	(イ) 実技試験 - 課題曲 R. Vaughn Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press) - 自由曲 (任意による1曲) (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻		研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	管 打 楽	打 楽 器 (P c)	(イ) 実技試験 1. 課題曲 F. Dupin : Myriades (Alphonse Leduc) 2. 自由曲 (任意による1曲) ※出願時に、打楽器のセッティング図、使用楽器のリストを提出すること。 ※自由曲の使用楽器について、こちらから問い合わせをする場合がある。 ※自由曲の変更をお願いする場合がある。 (ロ) 面接 管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 室 内 楽 楽	◎室内楽研究分野共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○ピアノを個人で受験する場合、<u>共演する楽器はヴァイオリン限定とする。</u> ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。 ○「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。	
	弦 楽 四 重 奏	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 - 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18 の1-6 - 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59 の1, 2, 3, Op.74, Op.95 - 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)
	三 重 奏 ピアノとヴァイ オリンとチェロ	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 - 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 - 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Fauré, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) - 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)
	ニ 重 奏 ピアノとヴァイ オリン, ヴィオ ラ, チェロ	I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。 ① ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群 Beethoven:Sonaten für Klavier und Violine(全10曲)より一曲選択(全楽章) B群 以下のソナタより一曲選択(全楽章) Schubert:Fantasie für Violine und Klavier Op.159,D 934 Brahms:Sonate für Klavier und Violine G-dur Op.78 Brahms: Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.100 Brahms: Sonate für Klavier und Violine d-moll Op.108 Strauss: Sonate für Klavier und Violine Es-dur Op.18 Schumann: Sonate für Klavier und Violine a-moll Op .105 Franck: Sonate pour violon et piano Fauré:Sonate pour violon et piano No.1 Op.13 C群 A,B群の作曲家と時代の異なる作曲家のヴァイオリンとピアノの二重奏作品 ② ヴィオラとピアノの二重奏 A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Op.5-3 Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Märchenbilder Op.113 B群 Bowen : Sonata for Viola and Piano No.1 Op.18 R. Clarke : Sonata for Viola and Piano Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier, 1939 Shostakovich : Sonata for Viola and Piano Op.147 C群 A,B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品 (次ページに続く)

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 室 内 楽 楽	二重奏 ピアノとヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ	③ チェロとピアノの二重奏 A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonata for Violoncello and Piano in d Op.40 Prokofiev : Sonata for Violoncello and Piano Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for Violoncello and Piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano C群 A,B 群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品 II 個人で受験する場合 各楽器とも以下の 1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。 ① ピアノ 1. Chopin:Etudes Op.10,Op.25 より3曲選択する。内訳は、以下の3つの群より1曲ずつとする。3曲を準備して、当日抽選によりその中から2曲を演奏する。 a群 Op.10-2, 10-7, 25-4, 25-6, 25-8, 25-10, 25-11 b群 Op.10-1, 10-4, 10-5, 10-8, 10-12, 25-12 c群 Op.10-10, 10-11, 25-3, 25-5, 25-9 2. 前記のグループ受験課題曲 <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏A群</u>の中から任意の1曲。 3. <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏B群</u>から任意の1曲。 ② ヴァイオリン 1. 次の中から任意の1曲(全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ③ ヴィオラ 1. J.S.Bach : Solo Suites の中から No.1(BWV1007), No.2(BWV1008), No.3(BWV1009), No.4(BWV1010)より1曲を選び、Prélude,Allemande,Courante を演奏すること。 2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ④ チェロ 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲 A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲
	二重奏 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. Schubert : Introduktion und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonata for Flute and Piano in D Op.94 3. Isang Yun : "Garak" for Flute and Piano (個人での受験は認めない)
	木管五重奏	グループ受験の課題曲は以下のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 A群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 B群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器 楽	古 楽	◎古楽研究分野共通注意事項 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の志願者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック声楽志願者が必要なオブリガート楽器や、バロックヴァイオリン分野のコンチェルトのオーケストラパートは、チェンバロで代用すること。 3) チェンバロ分野、バロックオルガン分野、バロックチェロ分野の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 4) すべて課題曲の演奏順は自由とする。当日は、曲目提出用紙に記入した順に演奏すること。 5) 選択型の課題曲の場合、過去の年度に受験したことのある者はその時と重ならないように選択することを推奨する。 6) 演奏する作品の楽譜すべてをコピーし、A4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願と共に提出すること。 7) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、以下の2台である。 ① a'=415 のフレンチタイプ（音域 FF-f "" , 8'8''4' ヤング第2調律） ② a'=415 のイタリアンタイプ（音域 C/E-c"" , 分割鍵盤 split-sharps あり , 8'8''ミーントーン調律） ※なお、伴奏のために a'=440 のフレンチタイプ（音域 FF-f "" , 8'8''4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 8) フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430 の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g""）である。 9) チェンバロ分野、フォルテピアノ分野の志願者には、実技試験の行われる楽器で演奏する時間を事前に1回与える。 10) バロックオルガン分野の志願者については、下記の点に留意すること。 ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスポジションについては、オルガン研究分野の項（8ページ）を参照のこと。
	バロック声楽 (BVo)	(イ) 実技試験 1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（◎古楽研究分野共通注意事項参照）のみとする。移調等による基準ピッチの選択は採点に影響しない。] ①イタリア初期バロック期の独唱曲。 例) G.Caccini, C.Monteverdi, S.D'India, G.Frescobaldi の作品 ②J.S.Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ ③上記①②で選択しなかった作曲家による1800年までの独唱曲 [プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチタルカンタン）様式の作品）が1つは含まれていること。] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。（予見時間5分） (ロ) 面接 志望理由及び専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器	古	(イ) 実技試験 1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、25分程度のプログラムを構成し演奏する。楽章の選択、繰り返しは自由とする。 ①無伴奏曲 例) J.S.Bach : Sei Solo à violino BWV1001-1006, G.P.Telemann : 12 Fantasien, J.P.Westhoff : 6 Suiten, J.H. Roman : Assaggi, etc. ②フランスの「通奏低音付きソロ作品(ソナタ、コンセール、組曲等)」 例) J-M.Leclair, F.Couperin, J-F.Rebel, F.Francœur の作品 ③イタリアまたはドイツの「通奏低音付きソナタ」または「コンチェルト」 例) A.Corelli, A.Vivaldi, C.A.Lonati, G.F.Handel, F.Geminiani, J.S.Bach, F.Benda の作品 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由及び専門分野に関する簡単な試問
	楽	(イ) 実技試験 1. 次の①②を演奏する。 ①Geminiani : Sonate op.5 より第6番(全楽章、繰り返しは自由) ②J.S.Bach : Suite a violoncello solo senza basso No.1~4 (BWV 1007-1010) から任意の組曲を選び、プレリュード以外の楽章を演奏する(繰り返し省略)。 [楽器・弓とも原則としてバロック仕様のもの、ガット弦を使用すること。A線・D線はプレーンガット以外の使用は認めない。基準ピッチはa'=415とする。①に関してはチェンバロ奏者とともに演奏すること。] 2. アンサンブル課題： J.M.Leclair : 通奏低音つき Violin sonata op.5 より第7番イ短調の第1楽章および第2楽章を、本学の用意したソロ奏者と、志願者が同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。 3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等
器 楽	古	リ コ ー ダ ー (R e c)	(イ) 実技試験 1. 次の①～④を演奏する。 ①A. Virgiliano : “IL DOLCIMELO”より任意のリチェルカータ1曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。 管の種類及びピッチ、移調は自由。] ②J. -M. Hotteterre : 作品2 (1715年の第2版)又は作品5 (1715年) より任意の組曲1曲(全楽章) [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、F管アルト・リコー ダー使用の場合は適した調性に移調すること。ピッチはa'= 415] ③J. S. Bach : Partita イ短調 BWV1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調、F管アルト・リコー ダー使用の場合はハ短調に移調して演奏、ピッチは指定しな い。] ④ A. Vivaldi : 協奏曲 RV441, 443, 444, 445 から1曲(全楽章) [RV441はF管アルト、RV443, 444, 445はF管ソプラニー ノを使用。ピッチはa'=415] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。 (予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問
	楽	チ ェ ン バ ロ (C e m b)	(イ) 実技試験 1. 次の①～⑤を演奏する。 ①次のイ)～ハ) から任意の1曲 イ) J.P.Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ロ) W.Byrd : Fantasia in a (Musica Britannica XXVII- No.13) ハ) G.Frescobaldi : Capriccio sopra la Bassa Fiamenga ②J.H.d'Anglebert または L.Couperin の任意の Prélude non mesuré を1曲。 ③次の J.J.Froberger の組曲イ), ロ) のどちらかを選択 イ) 組曲ハ長調 (FbWV 612, Lamento で始まるもの) ロ) 組曲ニ長調 (FbWV 620, Meditation で始まるもの) ※各楽章、前半は繰り返しを行い、後半は繰り返しなしで演奏 する。 ④ J. S. Bach : Toccata fis-Moll (BWV 910) ⑤次のイ)～ニ) から任意の1曲 イ) J.P.Rameau : La Poule ロ) J.P.Rameau : La Dauphine ハ) A.&J.B.Forqueray : Jupiter ニ) P.Royer : La Marche des Scythes 2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のための アンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間10分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
器	古	(イ) 実技試験 1. 次の①～⑤を演奏する。 ①G.Frescobaldi : Parte sopra la Monicha (“Partite et Toccate”, Libro Primo) ※Mitteltönigwerk を使用すること ②次のイ)～ハ) から任意の1曲。 イ) J.P.Sweelinck : Hexachord Fantasia (F1, SwWV 263) ロ) J.P.Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ハ) J.P.Sweelinck : Echo Fantasia in d (d3, SwWV 260) ③北ドイツ楽派の大規模な Toccata, Praeludium, Praeambulum の中から任意の1曲。 ④N.de Grigny : “Livre d’orgue”の中から, Fugue à 5 を含む連続した4つの楽章 (ほかの作品にまたがってもよい)。 ⑤J.S.Bach : 6つの Triosonate BWV 525~530 の中から任意の1曲 (全楽章) 2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。 (予見打ち合わせ時間 10 分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問
	楽	(イ) 実技試験 1. 次の①～③を演奏する (繰り返しは自由, 計35分以内のプログラムにまとめる)。 ①C.Ph.E.Bach : “Clavier-Sonaten und freye Fantasien nebst einigen Rondos für Kenner und Liebhaber”より, 任意のファンタジアまたはロンドを1曲。 ②W.A.Mozart : クラヴィーアのための変奏曲より, 任意の1曲。 ③L.v.Beethoven : 作品 31 までのピアノソナタより, 任意の1曲 (全楽章)。 2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F.Couperin : 『クラヴサン奏法 L’Art de toucher le clavecin』の8つのプレリュードから任意のプレリュードを1曲。 3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分) (ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問

専攻	研究分野等	試験内容および課題曲等
指揮	指揮	(イ) DVD 審査 出願時に受験者本人の指揮による以下課題曲を録画・録音した DVD-R を提出すること。 課題曲 L.v.Beethoven : Egmont Overture, Op.84 ※指揮者が受験者本人であることを確認できるようにすること。 なお演奏はオーケストラによるものでもピアノ 2 台によるものでも可とする。DVD-R は NTSC または PAL システムによるものとし、DVD-R に受験者氏名及び収録日時を明記すること。 審査後、DVD-R は返却しない。 (ロ) 実技試験（以下の課題曲より、当日指定された部分を指揮する。） J.Brahms : Symphonie Nr.1 Op.68 または Symphonie Nr.2 Op.73 (ハ) ピアノ L.v.Beethoven : Piano Sonata Nr.8 c-moll Op.13 "Pathétique" (二) 音楽一般に関する試問

専攻	研究分野等		試験内容および課題曲等														
邦楽	◎邦楽専攻共通注意事項 ○志願者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。 ○「志望理由書」を出願時提出すること。																
	三味線音楽		(イ)実技試験 <table><tr><th>志願部門</th><th>課題曲</th></tr><tr><td>長唄三味線</td><td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td></tr><tr><td>常磐津三味線</td><td>「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td></tr><tr><td>清元三味線</td><td>「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)</td></tr><tr><td>長唄</td><td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td></tr><tr><td>常磐津</td><td>「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td></tr><tr><td>清元</td><td>「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)</td></tr></table> (注)長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の志願者は、各自使用する楽器を持参する。 (ロ)面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。	志願部門	課題曲	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津三味線	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元三味線	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)	長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)
	志願部門	課題曲															
	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)															
	常磐津三味線	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)															
清元三味線	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)																
長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)																
常磐津	「積恋雪関扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)																
清元	「梅の春」(毛利元義作詞・川口お直作曲)																
箏	山田流	(イ)実技試験 箏・箏歌「江の島曲」(山田検校作曲) (注)箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 (ロ)面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。															
曲	生田流	(イ)実技試験 箏「夜々の星」(光崎検校作曲) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄作曲) (注)箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 (ロ)面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。															
尺八	(イ)実技試験 琴古流による志願者……1. 「真虚霊」(初世黒澤琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「秋田菅垣」(同上) 都山流による志願者……1. 「岩清水」(流祖中尾都山作曲) 2. 「寒月」(同上) 3. 「懐月調」(同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 共通曲……………1. 「須磨の嵐」(山登万和作曲) 2. 「御山獅子」(菊岡検校作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は竹友社発行譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 (ロ)面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※出願の際は所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上提出すること。																

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
邦楽	能楽	(イ) 実技試験 観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「山姥クセ」及び仕舞「松風」 ワキ方 下掛宝生流による志願者 …謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	能楽囃子	(イ) 実技試験 1. 笛……………「楽」 2. 小鼓……………「楽」 3. 大鼓……………「楽」 4. 太鼓……………「楽」 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※出願の際は所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦楽囃子	(イ) 実技試験 1. 「賤機帯」（四世杵屋三郎助作曲）（太鼓・大鼓・小鼓・笛）より任意の楽器を選択。 注1）伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 2）楽器は各自持参すること。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	日本舞踊	(イ) 実技試験 1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。 注1）録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 2）両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。 (ロ) 面接 邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	研究計画書 大学院修士課程における各自の研究について、①修士課程での研究テーマと、そのテーマを選んだ理由、②そのテーマに関連してこれまでに自分が参照した研究等（それに対する自分の評価も含めて書くこと）、および③修士課程における具体的な研究計画（横書き、計 1600 字程度、手書き不可）を日本語で作成し、PDF ファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。 なお、研究計画書には氏名を明記しないこと。
		（イ）音楽学 音楽学の基礎的な知識に関する筆記試験。 （注）試験内容「音楽学」の受験においては辞書の使用を認める。 ただし、使用できる辞書は、言語系の紙媒体の辞書 1 冊のみとする。音楽事典など言語系ではない辞書の使用は認めない。 （ロ）口述試問 音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽教育	(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽教育研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間) (ロ) 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 【①～⑤のうち1つを選択し受験すること。】 ①「作曲」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『作曲専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。 ②「声楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『声楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「①歌唱実技試験」のみ』とする。「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ③「器楽(室内楽を除く)」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『器楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ) 実技試験」のみ』とする。ただし、ピアノで受験する者の試験課題は、次の通りとする。 以下(A)及び(B)を演奏すること。 (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の1曲(全楽章) (B) ショパン：練習曲(Op.10またはOp.25)より任意の1曲 (注) 1. 演奏はすべて暗譜とする。 2. 当日、時間の都合により一部省略させることがある。 「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ④「邦楽」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『邦楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち「(イ) 実技試験」のみ』とする。「尺八」および「能楽囃子」を選択した者は「受験曲目提出用紙」を出願時提出すること。 ⑤「音楽学」を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『音楽学研究分野における「試験内容および試験曲等」のうち、「(イ) 音楽学」のみ』とする。 (ハ) 口述試問 音楽教育を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。
	音楽文芸	(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽文芸研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間) (ロ) 口述試問 音楽文芸を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽音響創造	(イ) 筆記試験 出題された音楽音響等に関する設問から選択し、日本語で解答する。(試験時間 2 時間) ※設問の例は以下のとおりである。 ・音像の左右方向の定位は両耳間時間差と両耳間レベル差によって説明できる。音像の上下方向の定位についてはどのような手がかりによって説明できるか。可能な限り多くの手がかりを挙げ、それぞれどのような仕組みで音像定位に寄与しているかを説明せよ。 ・精神物理学の定数を測定する代表的な方法には調整法・極限法・恒常法がある。そのうち一つを選択して、どのような方法かを説明した上で、その特徴について解説せよ。 ・自身の研究を実施するにあたって必要となる実験環境の統制ならびに実験参加者への教示について説明せよ。また、そのように統制・教示する理由についても書け。(研究計画は願書とともに別途送付されているのでここに書く必要はない) ・音楽における間文化性とその芸術的意義を、具体例(作品等)を挙げながら論じなさい。 等 (次ページへ続く)

専攻	研究分野	試験内容および課題曲等
音楽文化学	音楽音響創造	(ロ) 口述試問 音楽音響創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。 ※ 出願時に (A) 「研究計画書」 及び (B) 「作品あるいは論考」 を提出すること。なお、「研究計画書」は、他必要書類と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、他必要書類とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「東京藝術大学音楽学部学生募集係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。 (A) 「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を 2000～3000 字で具体的に記述すること。Word 等で作成した文書を所定様式の点線枠内に貼付すること。 (B) 「作品あるいは論考」について 下記 (1) , (2) , (3) のいずれかを提出すること。(返却しない。) (1) 音楽作品の制作技法を評価の対象として希望する場合 自作品 2～3 点 (＊) とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1 作品につき A 4 用紙 4 枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。 (2) 録音技術の評価の対象として希望する場合 既存の曲 (オリジナル作品も可) を自ら録音した作品 (5～10 分程度) 1～2 点 (＊) と、それについての日本語による解説。(1 作品につき A 4 用紙 4 枚以内。録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること。) (3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考 (形式は自由) (＊) 音のみの作品の場合は CD-R, DVD-R で、映像をとまなう場合は DVD-R, Blu-ray で提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品 (メディア) と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。